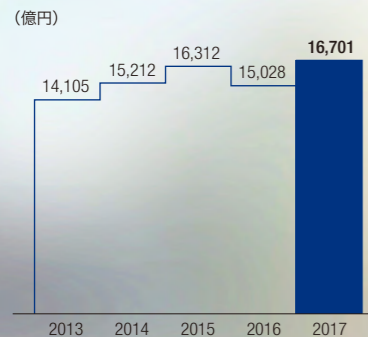


# 財務・非財務ハイライト

## 売上高

**1兆6,701** 億円

アセアンでの二輪車や北米での船外機の販売が好調だったことや、円安効果などにより前期比11.1%の増収となりました。



## 営業利益及び営業利益率

**1,498** 億円 / **9.0%**

売上高の増加に加え、コストダウンなどの収益性改善等が経費増加を吸収し、前期比37.9%の増益となりました。



## 親会社株主に帰属する当期純利益及び親会社株主に帰属する当期純利益率

**1,016** 億円 / **6.1%**

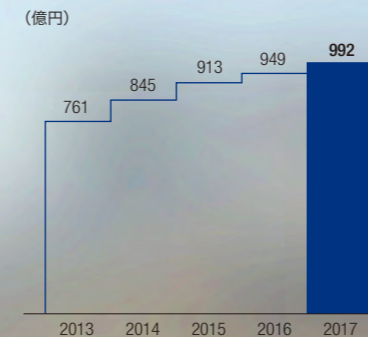
前期比60.9%の増益となり、過去最高益を達成しました。



## 研究開発費

**992** 億円

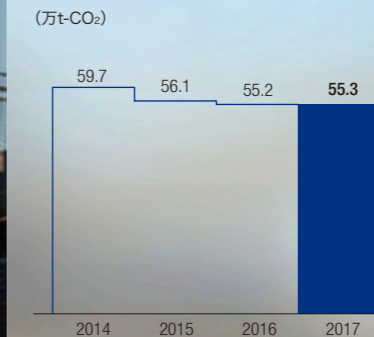
前期比4.5%増加し、過去5年間で30.4%伸長しています。



## CO<sub>2</sub>排出量

**55.3** 万t-CO<sub>2</sub>

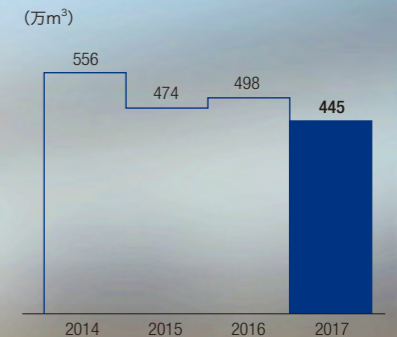
グループ共通の目標として「CO<sub>2</sub>原単位削減1%/年」を設定し、製品の開発、製造など、事業活動全般における温室効果ガスの削減を進めています。



## 取水量

**445** 万m<sup>3</sup>

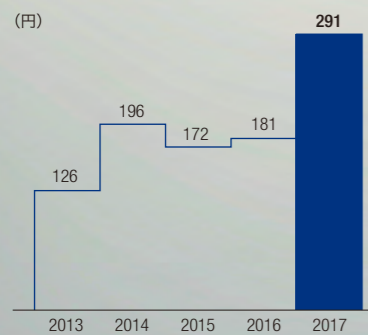
グローバルな水使用量の把握の継続に努め、工場での冷却水循環化や回収水(雨水など)の利用を推進し、取水量の削減に取り組んでいます。



## 1株当たり当期純利益

**290.93** 円

親会社株主に帰属する当期純利益の増加により、前期を上回りました。



## 総資産及び総資産当期純利益率

**1兆4,158** 億円 / **7.4%**

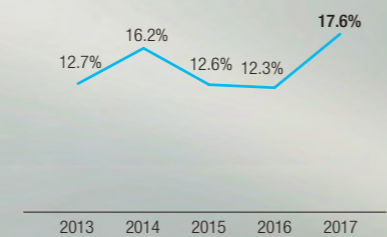
現預金の増加等により、前期末比971億円の増加となりました。



## 自己資本利益率 (ROE)

**17.6%**

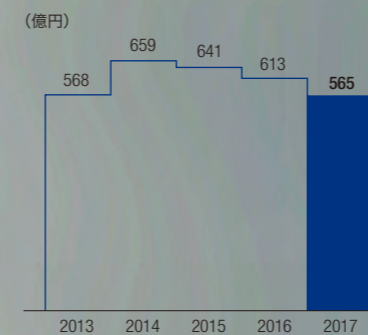
当期利益の向上、ならびに自己資本比率を高めながらも資産効率を意識した資産回転により、ROEは前期末より5.3ポイント増加しました。



## 設備投資

**565** 億円

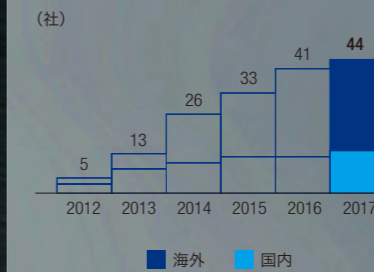
既存事業を効率的に展開し次の成長の「種まき」を進めます。



## 統一認証進捗率

**100%**

国内海外のグループ会社を対象としたグローバル環境ISO14001統一認証化の取り組みを2012年から進めています。対象は、日本・アジア・欧米・南米各地域の製造会社を中心に44社に拡大し、2017年末時点で全社が統一認証に参加しています。



## 海外拠点役員クラス現地比率

2018年目標 **60%**

国籍・原籍を問わず優秀な人材の経営幹部への登用を進め、海外子会社の経営幹部層については、2018年までに海外拠点役員クラスの60%にローカルタレントを登用することを目指しています。2017年は50%を超えました。

